

大規模木造建築物向け 建築事業資金融資を本格化 エスクローファイナンス

エスクローファイ

ナンス（EFII、
東京都、須田幸雄社
長）は、共同住宅や
大規模木造建築物を
建築する建設会社向
けの建築事業資金融
資を本格化する。

同社ではこれまで
住宅建設資金を運転
資金として出来高融
資サービスを提供し
てきた。これにより
施主は、注文した住
宅が完成する前に前
払い金を払う必要が
なくなり、住宅会社
の倒産による住宅工
事の中断、住宅が完
成しないというリス
ク回避にもつなが
る。

共同住宅や大規模
木造建築物などを建
設する場合、施主は

着工時に請負代金の
一部を支払い、竣工
後に金融機関から融
資を受けて残額を支
払うのが一般的で、
このような支払い条
件のもとでは、建設
会社は工事期間中の
事業資金を自社の与
信で金融機関から調
達している。規模が
大きな場合、調達金
額が不足し、受注を
断念せざるを得ない
場合もある。

EFIIでは、これ
までもアパート、マ
ンションなどの建築
工事に対して出来高
融資の取り組みを行
ってきたが、昨今の
経済環境で収益不動
産への投資が活況を
呈していること、低
炭素化を目指して国
土交通省も推奨して
いる大規模木造建築
物の建築が増加して
いることなどからサ
ービスを本格化す
る。

大規模木造建築物
というが、用途や規
模は問わない。施主
向けの事業融資の金
額の範囲で、最長1
年間の融資が可能と
いう。